

平成21年度 DIGファシリテータ養成講座の開催《速報》 〔高知県 香南市〕

地域の防災力を向上させることは、地域に住む住民自らが被害を正しく理解し、その対策を考える事が重要ですが、そのための手法としてDIG(災害図上訓練)があります。

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議の「モデル地域における地震津波対策の検討」プロジェクトは、高知県香南市をモデル地区として、地域でDIGを実施する際の進行役であるファシリテータの養成講座を実施しました。



◆日 時：平成22年2月2日(火)9:30～12:30

◆場 所：高知県香南市赤岡町【赤岡市民会館】

◆参加者：55名

[香南市職員6名、市内自主防災組織28名、高知県職員、四国地整職員等]

◆講 師：富士常葉大学 環境防災学部 准教授 小村隆史先生

◆養成講座の概要

◇オリエンテーション

DIGのねらい、ファシリテータの役割、自己紹介、雰囲気作り

◇人を知る、町を知る、災害を知る

地震や津波による被災状況を地図に記入して被害の様相を可視化。

◇課題を知る

作成した地図を見ながら課題を話し合い、認識を共有。

◇対策のまとめ

これから実施すべき対策について具体的内容を話し合い意見を整理。

◇発表、講評

各班の成果を発表すると共にDIGの習熟度を確認。

講師からの講評。質疑応答



養成講座の会場



DIGについて説明中

◇人を知る、町を知る、災害を知る



「津波による浸水範囲」を地図に記入

◇課題を知る



作成した地図を見ながら「課題の抽出」

◇発表



「地域教育」をテーマに対策を発表



「今後25年間の取り組み」をテーマに対策を発表

◇小村先生の講評

この講座に参加している皆さんの真剣な取り組みから、香南市は防災意識が高い町であると感じました。

南海地震が発生するまでの時間をどのように有効に使うかが皆さんに求められています。

地域の皆さんが一つ一つの対策を積み重ねることで子供・孫たちに安全な町を残していきましょう。

..... 参考

ODIGとは？

- ・DIGとは、災害図上訓練(Disaster Imagination Game)のことで、大きな地図を参加者全員で囲み、災害対策のイメージトレーニングを実施するものです。
- ・大人から子供まで参加者全員で「わいわい、がやがや」と語り合いながら課題の発見や災害対応を検討するためのトレーニングです。
- ・地域や学校、事業所で実施することにより、防災意識の高揚のみならずコミュニティ(地域相互支援ネットワーク)作りに役立つと言われています。

■東南海・南海地震対応DIG手引書は下記のアドレスよりダウンロードできます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/jishin/torikumi/chosei/DIGtebiki.pdf>

■東南海・南海地震対応DIG手引書に関するお問い合わせは四国地方整備局企画部防災課まで
連絡先: TEL087-811-8310

本施策は、四国広域地方計画「No6. 防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します